授業科目名・形態	社会調査論　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	松本 和剛	実務経験の有無	無	開講期	２年前期
科目ナンバリング	W3-2002sp(c) R				

【授業の主題】

社会福祉問題に向き合い、共に生きていく社会を創る実践にあたっては、様々な情報が必要である。この情報を科学的に収集する方法に社会調査法がある。ソーシャルワーカーには情報の収集と分析する能力が求められている。この科目は情報収集方法としての社会調査の意義と目的、及び調査方法の概要について学習する。 また、 統計法の概要、 社会調査における倫理や個人情報の保護、 量的調査方法及び質的調査方法について理解することを目的とする。

【到達目標】

1．社会調査がどのようなものであるかを理解する。統計法の概要、社会調査における倫理や，個人情報の保護について理解する
2．ソーシャルワークの過程で必要な調査の知識と技術について理解する。
3．実際に初歩的な社会調査の企画、実施ができ、専門的な調査報告書を読み込めることを到達目標とする。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション、社会調査の意義と目的　（福祉サービスと調査、社会福祉調査の歴史）
第 2 回　統計法、社会福祉調査における倫理と個人情報保護
第 3 回　社会福祉調査のデザイン①（社会福祉の理論と調査ソーシャルワークリサーチの妥当性）
第 4 回　社会福祉調査のデザイン②（調査のプロセス、調査テーマ・目的、調査計画）
第 5 回　社会福祉調査のデザイン③（調査の目的と対象、データの収集・分析）
第 6 回　量的調査の方法①（量的調査の種類と方法、横断調査と縦断調査）
第 7 回　量的調査の方法②（質問紙の作成方法・留意点、自計式調査と他計式調査）
第 8 回　量的調査の方法③（課題に対する質問紙の作成）
第 9 回　量的調査の方法④（質問紙の配布と回収、回収と集計）
第 10 回　質的調査の方法①（質的調査の概要と諸方法）
第 11 回　質的調査の方法②（質的調査のサンプリングとその手法）
第 12 回　質的調査の方法③（調査データの収集法）
第 13 回　質的調査の方法④（調査の記録方法と留意点）
第 14 回　質的調査の方法⑤（調査データの分析方法）
第 15 回　ソーシャルワークにおける評価（評価の意義・評価対象と評価方法）

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。また、必要に応じてレポート（1200 字以上 1600 字以内）を課す。

【事前・事後学習】

教科書、レジュメ、ワークシート、試験対策等を含め、毎回 2 時間の予習及び 2 時間の復習を行うこと。

【主な関連する科目】

ソーシャルワーク演習Ⅰ、貧困に対する支援

【教科書等】

最新・社会福祉士養成講座『社会福祉調査の基礎』中央法規出版

【参考文献】

随時、必要により提示する。

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 10%、提出レポート 30%, 期末試験の成績 60%の総合評価とし、60%以上の得点で合格とする。

【学生へのメッセージ】

個人･家族､地域社会などが抱えている社会福祉問題の解決に向けたソーシャルワークが有効な実践となるためには、問題の要因、本質を実証的・検証的に認識することが不可欠である。対人支援力も調査技術・理論を学ぶことによって有効な支援技術となる。社会福祉実践の重要な基礎となる社会調査論を学んでほしい。